

交通システムの比較

名称	ミニ地下鉄	モノレール	新交通システム	LRT	BRT
写真					
概要	小径鉄車輪の利用でレール面から車両床面までの高さを従来型地下鉄より下げて、車体幅を縮小することで、トンネル等構造物を小断面化した地下鉄である。	主として道路上空に架設される一本の軌道桁の上部に跨った車両、あるいは下部にぶら下がった車両で輸送するシステム。ゴムタイヤにより走行する。	主として道路上空に設置した専用軌道上を案内軌条によってガイドされたゴムタイヤにて走行する比較的小型の車体を持つシステム。	LRTは、従来の路面電車に対して、加減速性能の向上、乗り心地の改善、バリアフリー化等を図った高性能な車両(LRV)を用いた中量軌道系輸送システムである。既存の鉄道との直通運転も可能である。	バスを発展させ、輸送力、速達性を向上させたシステム。バスという以外に明確な定義はないが、走行方法としてバス専用レーンをもち、輸送力の大きい連節車両が走行するシステムをイメージされることが多い。
路線の柔軟性	△	△	△	◎ (道路に合わせて設定)	◎ (道路に合わせて設定)
利用のしやすさ	△ (上下移動を伴う)	△ (上下移動を伴う)	△ (上下移動を伴う)	◎ (歩道から乗降可能)	◎ (歩道から乗降可能)
道路への影響	◎ (地下)	○ (道路上に高架)	○ (道路上に高架)	△ (道路内専用レーン)	△ (道路内専用レーン等)
シンボル性	△ (地下のため目視不能)	△ (高架のため目視不能)	△ (高架のため目視不能)	◎ (平面で目視) (デザインに優れた車両)	○ (平面で目視) (通常のバスより優れる)
乗り心地	◎	◎	◎	◎	△
他交通との結節性	△ (上下移動を伴う)	△ (上下移動を伴う)	△ (上下移動を伴う)	◎ (平面で結節可能)	◎ (平面で結節可能)
まちづくりへの寄与	△ (地下)	△ (道路上空に建造物)	△ (道路上空に建造物)	◎ (道路空間の再構築)	△ (現況道路と変わらず)
表定速度	約 30km/h	約 30km/h	約 25km/h	約 20km/h	約 20km/h
輸送力	11,000～23,000 人/h 程度	約 12,000 人/h	約 9,000 人/h	3,000～5,000 人/h 程度	約 3,000 人/h
事業費	200～300 億円/km	100～150 億円/km	50～150 億円/km	20～30 億円/km	5～15 億円/km